

平成 30 年度 公益財団法人ふじのくに未来財団
事業報告書、附属明細書

～平成 30 年 4 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日～

公益目的事業 1

地域の社会課題解決のために必要な地域資源を循環させ、多様な主体参加と協働を推進する事業

(1) 寄付募集

※随時募集 ※一般（企業、団体、個人等）から広く寄付を募る。

ア. 寄付者が選択する「テーマ指定」への寄付募集

・社会課題解決型（テーマ指定）

子育て支援（689,900 円、静岡県労働金庫 1 件）

文化芸術スポーツ（10,000 円、個人 1 件）

障害者スポーツ（48,800 円 ジャトコグループ・ゴルフ愛好家一同 1 件）

・冠基金（計 4,605,500 円、3 基金へ 3 件）

せいしん地域のちから基金（1,000,000 円）

3/8 寄付贈呈式（会場 静清信用金庫本店）

静岡朝日テレビ静岡のチカラ基金（1,000,000 円）

静岡トヨタハイブリッド基金（2,605,500 円）

5/16 寄付贈呈式（会場 静岡トヨタ自動車(株)本社）

イ. 寄付者が選択する課題解決「団体支援」寄付募集（計 782,800 円、7 団体に 18 件）

・3 個人、チャリティラッフルより

NPO 法人 POPOLO（計 45,000 円）

・1 個人より

NPO 法人ソラノワ（12,000 円）

・1 個人より 2 件

NPO 法人音楽の架け橋メセナ静岡（計 100,000 円）

・起進ダイヤモンド(株)、(株)袋井清掃より

NPO 法人静岡県災害支援隊（計 110,000 円）

・5 個人、チャリティラッフルより

プロ野球静岡県人会（計 46,000 円）

・NPO 法人まちづくりサポーターFUJI より

古谿荘に親しむ会（450,000 円）

・1 個人、チャリティラッフルより

子育て支援サークルほっと（計 19,800 円）

ウ. 財団の公益事業運営支援への寄付募集

・財団運営管理基金

① 財団支援（計 691,307 円、32 件）

島田信用金庫（300,000 円）

10/29 寄付贈呈式（会場 島田信用金庫）
 静岡県遊技業協同組合（200,000 円）
 2/12 寄付贈呈式（会場 静岡県遊技業協同組合）
 株式会社パートナーズ（30,000 円）
 三栄ハイテックス株式会社（50,160 円）
 その他（個人、募金等 28 件）111,147 円

②協賛寄付（計 101,260 円、63 件）

- ・バリューボックス「ぼぼん・プロジェクト」
- ・寄付付き自販機 13 台設置

エ. 「賛助会員」募集（計 263,000 円、26 件：法人会員 8 件、個人会員 18 件）

寄付実績 計7,192,567円（30%減）

科 目	件数	H30度 寄付額	備 考	前年度 寄付額	昨年比
賛助会費	26	263,000	法人8件、個人18件	170,000	54%増
財団支援	32	691,307	島田信用金庫 300,000 三栄ハイテックス 50,160 静岡県遊技業協同組合 200,000 パートナーズ 30,000 他	1,235,954	44%減
テーマ指定	3	748,700	障害者スポーツ支援 48,800、 文化芸術 10,000 子育て支援 689,900	981,050	24%減
冠基金	3	4,605,500	静岡トヨタ自動車 2,605,500、 静岡朝日テレビ 1,000,000 静岡信用金庫 1,000,000	7,226,500	36%減
団体支援	18	782,800	起進ダイヤモンド 10,000 袋井清掃 100,000 まちづくりサポーターFUJI 450,000 個人12件 チャリティラップル 3件	581,414	35%増
協賛寄付	63	101,260	クリック、ぼぼん(古本寄付) 寄付付き自販機	134,280	25%減
計	145	7,192,567		10,329,198	30%減

参考: 平成 27 年 4 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日の寄付実績 (円)

寄付の種類	H27	H28	H29	H30	計
賛助会員	656,000	316,480	170,000	263,000	1,405,480
財団支援	295,698	657,066	1,235,954	691,307	2,880,025
テーマ	583,300	737,400	981,050	748,700	3,050,450
冠基金	3,440,000	5,745,500	7,226,500	4,605,500	21,017,500
団体支援	521,000	2,204,000	581,414	782,800	4,089,214
協賛寄付	130,435	188,477	134,280	101,260	554,452
総計	5,626,433	9,848,923	10,329,198	7,192,567	32,997,121

(2) 寄付研修及び啓発

※多様な寄付の方法、ツールを紹介し、寄付による社会貢献への参加を啓発すると共に、NPO等にとっては資金調達としての寄付集めの方法を学ぶ。

ア. 遺贈寄付の啓発

- ・遺贈セミナー

日時：平成 31 年 3 月 5 日 13:30～16:00

会場：ふじのくに NPO 活動センター

講師：「平成 29 年度下半期における相続に関する相談状況」からみえる遺贈の現状

芝 知美氏（司法書士法人芝事務所代表）

「金融機関から見た遺贈の傾向」

内藤有紀氏（三井住友信託銀行静岡支店）

参加者：20 名

- ・遺贈寄付リーフレット 4000 部増刷

高齢者向けのセミナー等で配布（島田信用金庫協力）

ウ. 「募金箱」「寄付付き自販機」「寄付付き商品」等の開発・販売支援

- ・寄付付き商品を締結及び継続中のもの

企業名	商品
静岡トヨタ自動車（株）	ハイブリッド車種 24 車種
静岡信用金庫	せいしん地域応援定期預金、地域のちから基金
シーラック（株）	バリ勝男くん（食料品）
シーラック（株）ホテイフーズコーポレーション	富士の種（食料品）
シーラックパル	（ビジネスホテル）リネン未交換による寄付

- ・バリューブックス「ぼぼん（古本寄付）」

静岡県職員組合事務所、ふじのくに NPO 活動センター（東・中）

静岡朝日テレビ、静岡信用金庫、静岡県労働金庫労働組合

静岡県議会事務所等 30 ケ所以上に古本回収箱を設置

- ・コカ・コーライーストジャパン（株）の寄付付き自販機 2 台を設置

戸田書店（株）富士店【富士市】、富士山こども BASE 様【富士宮市】

- ・ダイドードリンコ（株）の寄付付き自販機 11 台を設置

静岡県立総合病院（芙蓉会）3F、4F【静岡市】、

静寿会 シーサイド浜当目焼津【焼津市】

静岡トヨペット（株）掛川店【掛川市】、カナエ工業（株）【富士宮市】

常葉大学 静岡草薙キャンパス【静岡市】、静岡トヨペット（株）本社【静岡市】
 （株）朝日メディアブレン（静岡朝日テレビ内）【静岡市】
 スルガ銀行（株）東静岡支店【静岡市】、珀寿会 大富陽光園【焼津市】
 （公財）静岡県コンテナ輸送振興協会（静岡県浜松内陸コンテナ基地内）【浜松市】

・使い損じハガキの寄贈受付（企業、個人）

エ. 寄付者の情報管理

・ Salesforce 活用

(3) 活動助成採択決定事業（公募）

※テーマに沿った事業について、必要資金の全部又は一部を助成する。

書面審査を経て、公開プレゼンテーション選考委員会で審査する。

ア. 冠基金助成事業（助成決定総額 4,961,284 円）

【せいしん地域のちから基金、せいしん地域未来基金】 静岡信用金庫による寄付を原資

助成決定総額 1,325,400 円(4 件)

助成名	実施団体	事業概要	事業費	助成決定額	助成済み額	事業開始日	事業終了日
親支援プログラムと地域の親支援 専門家を活用した妊娠期からの切 れ目のない支援	NPO法人place of peace	子育てする親が妊娠期から育児期まで安心して子育て を行うことが出来るよう、妊娠期から子育て期までの親 支援プログラムを実施する。	¥646,761	¥517,400	¥500,000	2018/8/1	2019/3/15
子ども世代から働きかける特殊詐 欺撲滅事業	NPO法人今川さん製作 委員会	いっこうに被害が減らないオレオレ詐欺。その防止のカ ギとなるのは子ども・家族の積極的な参加。そこで若い 世代の興味をひく動画やグッズを作成・公開・頒布し て、子ども世代から親世代へ働きかける防犯運動を促 進する。	¥500,000	¥400,000	¥400,000	2018/8/1	2019/3/31
学生と乳児親子の世代間交流推 進事業	NPO法人子育てサーク ルネットしずおか	次代を担う学生が、子育て中の親や乳児との交流を通 して命の尊さや人を育てることの大切さを体感するとと もに、子育て中の親にとっては地域の人と接点を持つ機 会となり、孤立することなく子育てができるような地域交 流が図られるきっかけとなることを目的とする。	¥198,000	¥158,000	¥158,000	2019/4/1	2019/12/20
災害時要援護者を対象とした防災 教育プログラムの開発・実施事業	静岡ラーニング・ラボ	「脅さない防災教育」の理念のもと、独自の防災紙芝居 や防災ゲームを活用して、防災に関する基礎知識を提 供し、地域における防災意識の向上を目指す。	¥350,000	¥250,000	¥250,000	2019/3/1	2020/3/31
総計（4件）			¥1,694,761	¥1,325,400	¥1,308,000		

【静岡トヨタハイブリッド基金】 静岡トヨタ自動車（株）の寄付を原資として助成

助成決定総額 2,819,000 円（6 件）

助成名	実施団体	事業概要	事業費	助成決定額	支払済み額	事業開始日	事業終了日
助成プログラム名: 2018静岡トヨタ自動車ハイブリッド基金(1回目) (6件)				¥2,819,000	¥2,450,000		
富士山の重要な植生・植物の生態と 分布調査	富士山自然誌研究会	富士山全域の植生・植物種を含む植物的自然の現況調 査と、希少種(レッドデータ)を含めた保護上重要な植生・ 植物種の生態・分布調査を1年間実施して、その現状と 課題を明らかにすると共に、今後の保全対策の基礎資料 として活用する。	¥500,000	¥400,000	¥400,000	2018/8/1	2019/7/31
高校生の力を借りて、障がい者と多 様な人々の居場所運営	認定NPO法人フリース ペース・うえるびー	障がい児者をはじめ高齢者や若者など多様な人々が、 グループホームの一角に設けたひだまりカフェに集い、そ れぞれが自分らしい生き方を築き上げる場を構築する。新た な参加者を増やせるよう、静岡県立金谷高校の有志に企 画・運営段階から参加してもらう。	¥385,000	¥300,000	¥300,000	2018/8/1	2019/2/28
平成30年度女性のための防災減災 リーダー養成講座及び防災講演会	NPO法人御前崎災害支援 ネットワーク	「防災減災の場に女性のかかわる」を積極的に推進し、 防災減災活動において男女共同参画の視点で取り組め るようし、県民の防災減災意識・知識の向上を図る。2 日間の受講を原則として専門性の高い講師による講義と 今までにない障がい者の被災者を実際に受け入れる避 難所運営の実践訓練を実施する。	¥1,167,200	¥500,000	¥500,000	2018/7/1	2018/10/31
障害児者も誰もが一緒に楽しめる ファミリーコンサート事業	NPO法人富士どうの会	障害児者は、コンサートなど生演奏の音楽に触れる機会 が少なく参加しにくい為、障害児者が気兼ねなく参加で きるよう、誰もが一緒に音楽を楽しめるファミリーコンサ ートを開催する。	¥503,529	¥400,000	¥400,000	2018/8/1	2019/6/10
“農村サファリ”で“やすらぎの森”を 環境教育モデル施設にバージョン アップ!	NPO法人複合力	農山村の持つ環境教育力を生かし“清水森林公園やすら ぎの森”を“農村サファリ”をキーワードに再構築し、複合 力6年間の環境保全活動を“守りから攻め”にバージョン アップさせ、両河内の脱・限界集落への力とする。	¥965,230	¥586,000	¥450,000	2018/8/1	2019/3/20
松崎町石部棚田におけるホテルの新 たなびオートブネットワーク創出プロ ジェクト	認定NPO法人自然環境復 元協会(NAREC)	石部棚田のホテルの里再生と地域活性化のために、石 部棚田の山林エリアを新規にホテルが生息できる環境に 再生工事を行うとともに、既存の棚田にあるホテル水路も 改修・整備を行い、山林エリアと棚田エリアをオートブ ネットワークとして結ぶことで、原風景であるホテルの里 を再生・復活させる。	¥834,000	¥633,000	¥400,000	2018/8/1	2019/7/31

【静岡朝日テレビ静岡のチカラ基金】 静岡朝日テレビの寄付を原資として助成

助成決定総額： 733,764 円 (3件)

助成名	実施団体	事業概要	事業費	助成決定額	支払済み額	事業開始日	事業終了日
助成プログラム: 助成プログラム名: 2018静岡朝日テレビ静岡のチカラ基金 (3件)				¥733,764	¥733,764		
「誰一人取り残さない」中高生向けSDGsプログラムの開発事業	NPO法人 しずおか共育ネット	SDGs(持続可能な開発目標)の10代の認知度が低く、具体的な活動や行動変容へと繋がる取り組みの障壁となっている。本事業では「誰一人取り残さない」社会の実現に向け、身近な問題からSDGsを捉えさせる教育プログラムを開発し、中高生に実施することによって理念の実現に向けた社会基盤の構築に貢献する。	¥430,000	¥346,000	¥346,000	2019/3/1	2019/12/31
病と闘う子どもたち×次世代を担う学生×静岡のアーティスト アートで紡ぐ楽しい時間創造プロジェクト	NPO法人アートコネクトしずおか	病と闘う子どもたちへ安らぎと楽しい時間を提供するために次世代を担う学生と静岡のアーティストが企画し、イベントを創作。やりがいと喜びを創出する。	¥450,000	¥300,000	¥300,000	2018/8/1	2019/3/30
うちっちしぞ〜か☆エコアクション2018	うちっちしぞ〜か☆エコアクション2018 実行委員会	大学生、若年齢層を中心とする一般市民の環境意識の高揚と具体的取組の推進のため、若年齢世代が中心となって一般市民による静岡市内各箇所の一斉清掃活動を行う。	¥109,706	¥87,764	¥87,764	2018/9/9	2018/9/30

イ. テーマ指定助成事業

【子育て支援事業】 静岡県労働金庫、1個人による寄付を原資として助成

助成決定総額 732,910 円 (3件)

助成名	実施団体	事業概要	事業費	助成決定額	助成済み額	事業開始日	事業終了日
夏休み体験学習	ペアレンツスクール Parent's School	夏休みの4日間、静岡市内の生涯学習交流館や畑にて、本団体が小学生を対象に調理体験やダンス教室を開催。将来教員になりたいという学生がスタッフとなり、安心感・満足感を保障する場をつくることにより、「子育てしやすいまち」のイメージアップをはかる。	¥150,278	¥50,000	¥50,000	2018/8/20	2018/8/23
子どもあそび場	遊び競技場	子どもたちの夏休みの居場所として8月上旬に1週間、下旬に1週間、合わせて2週間の「まちなかアウトドア」を開催する。	¥239,638	¥191,710	¥191,710	2018/6/18	2018/9/10
全ての子ども達が安心して暮らせる社会に！ ～ノーマライゼーション社会を目指して～	cocore	4月2日の世界自閉症啓発デーを含む1週間、子連れの家族が多く集まるショッピングモール「マークイズ静岡」で、子ども達やその親が楽しみながら障がいに対する理解を深められるイベントを開催する。	¥614,000	¥491,200	¥491,200	2019/2/10	2019/4/30
総計 (3件)			¥1,003,916	¥732,910	¥732,910		

ウ. 団体指定助成事業 団体を指定して助成

助成決定総額 749,000 円(3件) 助成支払済

助成名	実施団体	事業概要	事業費	助成決定額	事業開始日	事業終了日
助成プログラム: 助成プログラム名: 2018団体支援事業 (3件)				¥749,000		
新規開設の子育て支援ひろば「ここみの森」における子どもの意欲と想像力を育む環境づくり	浜松の未来を育てる会	2018年10月から浜松市浜北区に浜松市委託子育て支援ひろば「ここみの森」(浜北区中瀬)を新規開設し、子どもの意欲と想像力を育む環境づくりと、虐待予防、産後うつ予防と予防的支援の場として妊婦や親子をサポートする。	¥3,389,494	¥90,000	2018/9/1	2019/3/31
袋井市 地域防災力向上事業	NPO法人静岡県災害支援隊	震災発生時に大きな課題となるトイレの問題を少しでも解決すべく、袋井市の全自治会連合会、自治会、社会福祉協議会へ約2,000台の防災用携帯トイレを寄贈し配布する。	¥600,000	¥459,000	2018/8/1	2018/8/31
特殊詐欺被害をなくす官企民連携「みーちゃんによるオレオレバスターズ」	認定NPO法人丸子まちづくり協議会	特殊詐欺の被害をなくすために地域住民が主体となり、企業及び警察の支援を受けて、被害防止用に作成された人形「あんしんみーちゃん」を活用した防止対策と啓蒙活動を試行し、電話やはがきなどの件数調査とアンケート調査を行う。	¥203,250	¥200,000	2018/5/1	2018/10/31

エ. 公開プレゼンテーション選考委員会

【選考委員】

築地 茂 氏 【(株)静岡新聞社 論説員】★委員長

鈴木恵子 氏 【浜松市市民協働センター 副センター長】

久保田光彦氏 【中小企業診断士、公認会計士、税理士】

三浦博之 氏 【(株)日本政策金融公庫 営業課長】

宮本 聡 氏【(公財) ふじのくに未来財団 理事】

- ・第1回目：平成30年7月26日 14:00～ 於：ふじのくに NPO 活動センター
「静岡トヨタ自動車ハイブリッド基金」「静岡朝日テレビ静岡のチカラ基金」
「せいしん地域のちから基金」、テーマ指定「子育て支援」
- ・第2回目：平成31年2月6日 14:00～ 於：ふじのくに NPO 活動センター
「静岡朝日テレビ静岡のチカラ基金」、「せいしん地域のちから基金」
テーマ指定「子育て支援」

オ. 平成30年度助成事業報告発表会（ネネイチ 2018 前半）

日時：平成30年11月16日 17:00～18:30

会場：Gaest. (ゲスト)

参加者：57名(助成事業実施者、寄付者、その他)、発表16助成事業実施団体

(4) セミナー、人材育成等

ア. 「セミナー」「ワークショップ」等の開催

CSR検定3級（オルタナ主催 静岡会場運営）

- ・日時：平成30年4月22日
会場：静岡市番町市民活動センター
受験者：3級受験者 4名 2級受験者 1名
- ・日時：平成30年10月21日
会場：グランシップ
受験者：3級受験者 4名

イ. 人材育成事業

・非営利組織のための資金調達セミナー

日時：平成31年1月12日

会場：静岡県男女共同参画センター「あざれあ」

講師：山田泰久氏、浅井美絵氏

参加者：20名

・沼津ソーシャルデザイン塾

日時：平成30年10月15日、11月5日、11月13日、12月13日、1月16日

会場：ぬまづのたカラボ

講師：土屋幸己氏（一社 コミュニティーネットハピネス）

原田和正氏（NPO法人静岡団塊創業塾）

芹沢安久氏（西伊豆しおかつお研究会）、豊田由美氏（ちゃの生）

近藤武氏（NPO法人まちづくり協議会）

宮本聡氏（営業コンサルタント／ファンドレイジングアドバイザー）

深野裕士氏（一社マチテラス製作所）、中谷渉氏（日本政策金融公庫沼津支店）

参加者：延べ78名

・学生インターンシップ受け入れ協力

静岡大学学生支援センターキャリアサポート部門

授業「インターンシップの理論と実践」 准教授 宇賀田栄次

参加者：4名

ウ. ファンドレイジング支援

- ・寄付月間 2018 への参加 (団体支援キャンペーン)
- ・ネネイチ 2018 の開催

日時：平成 30 年 11 月 16 日 19:00～21:00

会場：Gaest. (ゲスト)

参加者：92 名 (うち財団関係者 78 名)

(5) コンサルティング事業

- ア. プロボノ・専門家等募集・登録の仕組み等を構築
 - ・司法書士、公認会計士、社会保険労務士による相談
- イ. 中間支援及び NPO 基盤整備・コンサルティング等
 - ・NPO コンサルティングの実施 (FNC 業務内)
- ウ. CSR コンサルティング
 - ・企業の CSR 相談 (FNC 業務内)

(6) 社会課題とその解決に関する調査研究事業

- ア. 地域課題とそのニーズに関する勉強会等の開催
 - ・「コレクティブインパクト手法で取り組むモデルプロジェクト 100 事例創出事業」
(日本財団助成、全国コミュニティ財団協会委託事業)
 - 地域円卓会議 in 静岡～オレオレ詐欺被害を防ぐ新しい方法づくり
日時：平成 31 年 2 月 13 日 13:00～16:00
会場：ふじのくに NPO 活動センター
登壇者：坂田幸隆氏 (静岡県警本部)、
近藤 武氏 (NPO 法人丸子まちづくり協議会)
前田和人氏 (静岡県広聴広報課)、春日康子氏 (NTT 西日本静岡支店)
増田信介氏 (静岡信用金庫)、高橋晃一郎氏 (静岡オレオレバスターズ)
- イ. 実地取材・ヒヤリング等によるニーズ把握
 - ・出張 NPO 相談、講座等におけるヒヤリングによるニーズ把握 (FNC 業務内)
- ウ. 課題把握の仕組みづくり (円卓会議によるネットワーク化) 等

(7) 社会課題とその解決に関する情報収集及び情報発信事業

- ア. 未来財団に関する「説明会」等の開催
 - ・講座等においてミニ説明を実施
 - ・静岡朝日テレビ静岡のチカラプロジェクト特別番組 (平成 30 年 12 月 22 日放映)
「春風亭昇太のふじのくに明日へのチカラ」当財団を紹介
- イ. ホームページでの情報発信、月 1 回のメールマガジン、SNS による随時情報発信
- ウ. 公益財団法人用「リーフレット」作成
 - ・ぼぼんリーフレット 3,000 部
 - ・平成 29 年度活動報告書作成 4,000 部

・寄付付き自販機チラシ 2,000 枚

※ 関係機関等へ配布、配架依頼、講座での配布

(8) 行政・企業・NPO 等との協働事業

ア. ヒヤリング・取材対応等

・寄付贈呈式、イベント等のプレスリリースの実施

・メディア掲載

遺贈寄付取材(中日新聞)

日付	内容	媒体
4月18日	ソーシャル事業 資金調達で相談会	静岡新聞
5月17日	ふじのくに財団に市民活動の支援金 静岡トヨタ	静岡新聞
5月24日	病への気持ち 絵に乗せ表現 静岡で入院中の子どもたち	静岡新聞
5月30日	人形で詐欺電話対策始動 駿河区の丸子まちづくり協 地域一丸で被害防止	静岡新聞
5月30日	静岡・丸子地区で詐欺電話対策作戦	テレビ静岡
6月6日	「みーちゃん大作戦」始動 電話が鳴ると注意喚起 静岡・丸子 高齢者宅で実証実験	毎日新聞
8月27日	関心高まる遺贈寄付とは 意志ある遺産の使い道 「地域に役立てて」	東京新聞
9月17日		中日新聞
11月4日	NPO支援に30万円を寄付 島田信金	静岡新聞
12月8日	ふじのくに財団に68万円余を寄付 県労働金庫	静岡新聞
12月22日	静岡朝日テレビ番組「明日へのチカラ」放送	静岡朝日テレビ
	静岡のチカラプロジェクト	朝日新聞
12月31日	(師走の街角) 詐欺根絶へ草の根活動	読売新聞
1月12日	地域活動パワーアップ講座 助成金申請のこつ学ぶ	伊豆新聞
1月13日		静岡新聞
2月13日	(イブアイ)地域円卓会議 詐欺被害者のその後	静岡放送
2月14日	(許さない！ニセ電話詐欺) 県警、銀行、住民ら対策会議	中日新聞
2月15日	防げ！特殊詐欺)名簿悪用 対策考えよう	読売新聞
2月19日	おれおれ詐欺被害防ぐ 県警や金融機関など意見交換	静岡新聞
2月19日	「今川さん」詐欺防止訴え 動画公開へ	読売新聞
3月1日	「遺贈」の現状 5日、静岡でセミナー	静岡新聞

イ. 講師、委員派遣等

- ・焼津市市民公益活動事業補助金審査員
- ・藤枝市まちづくり総合事業補助金選考委員
- ・掛川市協働まちづくり発表会コメンテーター
- ・沼津市民間支援まちづくりファンドアドバイザー
- ・助成財団シンポジウム in 浜松 (主催：NPO 支援財団研究会)
- ・ふじのくに消費者教育推進フォーラム in 東部協賛
- ・熱海市講座「助成金講座」
- ・人生100年サミットブース出展 (主催：NPO 法人静岡団塊創業塾)

ウ. ふじのくに NPO 活動センター及びふじのくに東部 NPO 活動センター運営

(静岡県暮らし・環境部県民生活課協働推進班より受託)

・別紙参照

エ. ふじのくにソーシャルビジネス支援ネットワーク

- ・社会起業家向け法人設立・資金調達相談会開催（4/18,6/13,8/8,10/17,12/19,2/27）
相談4件
ネットワーク連絡会議開催（4/18,8/8,12/19）
- オ. 一社）全国コミュニティ財団協会会員
 - ・研修（6/14,6/15 京都、7/24,7,25 佐賀、8/4 東京、9/3 東近江、3/20 岡山）
 - ・設立5周年・年次大会：平成31年3月21日（於：岡山）
～ポスト平成の日本における新しいインフラとして
コミュニティ財団は どんな可能性を支えるのか～
基調講演：「地域循環共生圏の構築に向けて、コミュニティ財団に期待する役割」
環境省 事務次官 森本 英香氏
 - ・ブロック会議：11/22(名古屋)、2/18(名古屋)
- カ. 全国レガシーギフト協会加盟団体
遺贈相談窓口開設・salesforceによる集計
9件の遺贈相談、一社）全国レガシーギフト協会加盟団体と相談事例共有
遺言書(財団への寄付)4通(H31.3末現在)

(9) 組織に関する事項

ア. 評議委員会

- ①平成30年6月22日 平成30年度第1回定時評議委員会
 - 第1号議案 第3期貸借対照表、損益計算書、及び財産目録、事業報告書承認の件
 - 第2号議案 任期満了に伴う理事、監事、評議員選任の件
 - 第3号議案 役員及び評議員の報酬等並びに費用に関する規程の件
 以上原案通り承認

イ. 理事会

- ① 平成30年6月7日 平成30年度第1回理事会
 - 第1号議案 平成29年度事業報告及び決算の承認に関する件
 - 第2号議案 定時評議委員会の招集の決定
 - 第3号議案 助成事業選考委員に関する件
 - 第4号議案 規約の改定
 以上原案通り承認
- 報告事項
代表理事・業務執行理事の職務執行の状況報告
- ②平成30年6月25日 平成30年度第2回理事会（みなし理事会）
 - 第1号議案 代表理事、副代表理事選定
代表理事 伊藤育子
副代表理事 都築直人
副代表理事 千野和子
 以上原案通り承認

- ③平成30年9月7日 平成30年度第3回理事会
 - 第1号議案 職責および業務分掌の承認の件

第2号議案 理事との利益相反取引承認の件

報告事項

代表理事・業務執行理事の職務執行状況の報告

④平成31年3月8日 平成30年度第4回理事会

第1号議案 平成30年度補正予算 承認の件

第2号議案 平成31年度事業計画案、予算書案の承認の件

第3号議案 規定（寄付金等取扱規定、助成事業費助成金交付要綱

助成事業実施要領、助成事業選考委員会規定、就業規則）改訂承認の件

第4号議案 専務理事、事務局長人事

以上原案通り承認

報告事項

代表理事・業務執行理事の職務執行状況報告

ウ. コンプライアンス委員会

①平成30年度第1回コンプライアンス委員会

日時：平成30年9月21日

参加者：都築直人（委員長）、河村浩美（統括部長）、千野和子（委員）

議題：コンプライアンスに関する取り組み状況

②平成30年度第1回コンプライアンス研修

日時：平成30年12月21日

出席者等：河村浩美、千野和子、溝口和寿、村上茂之、木南妙子、一氏涼子

岡寄美佐子

内容：研修の目的と概要、財団規程内の位置づけ等

コンプライアンスの意味

CSR との関連コンプライアンスとは、「経理」「出納」「財務」の確認事項

平成 30 年度ふじのくに NPO 活動センター活動 報告書

平成 30 年度ふじのくに NPO 活動センター活動報告書

I 協働・NPOに関する情報の収集・発信、普及啓発

1 協働・NPOに関する事例の調査

(1) NPO事例調査（基準値 情報更新 80 事例、新規 10 事例）

<情報更新>

- ・昨年度作成した冊子「NPO100～地域課題に取り組む団体紹介」に掲載した 100 団体のうち 80 団体について、収入や事業内容などの最新情報を調査票の配布回収により調査し、FNC 東部担当の 20 団体とあわせ団体紹介のページ原稿を修正更新した。

（※1 団体は協力を得られず未更新）

<新規>

- ・調査した地域課題に取り組む NPO 10 団体（西部 4 団体、中部 3 団体、東部 3 団体）
 - ①NPO 法人エコライフはままつ(浜松市)
 - ②NPO 法人いわたタウンマネジメント(磐田市)
 - ③認定 NPO 法人 WAKUWAKU 西郷(掛川市)
 - ④NPO 法人アートコラールきくがわ(菊川市)
 - ⑤相賀の里を良くする会(島田市)
 - ⑥NPO 法人しだはいワンニャンの会(焼津市)
 - ⑦NPO 法人三保・羽衣村(静岡市)
 - ⑧紙っと！プロジェクト(富士市)
 - ⑨ぐらんまテラス(沼津市)
 - ⑩NPO 法人みしまびと(三島市)

(2) 協働事例調査（基準値 10 事例）

- ・協働先進事例の情報収集 収集事例数 10 事例（西部 5 事例、中部 4 事例、東部 1 事例）
 - ①耕作放棄地を解消し、地域の農村景観を次世代へ（和地ふるさと会、株式会社知久（知久屋）、学校法人中野学園、他）
 - ②古紙回収売上金による小中学校 ICT 支援（認定 NPO 法人 WAKUWAKU 西郷、掛川市内の 7 事業所、掛川市・掛川市教育委員会）
 - ③自分で守ろう自分の健康～健康体操講座（NPO 法人健康文化クラブ、杏林堂薬局、袋井市健康づくり課、他）
 - ④アウトドアイベント・きくがわテント村（菊川地域振興フェスティバル実行委員会、ボーイスカウト菊川第 1 団、他）、
 - ⑤みんなで子育て～カラフルブリッジ（NPO 法人 COMPAS、掛川市社会福祉協議会）
 - ⑥デンマークキャンプ in 焼津（Hygge、焼津市市民活動交流センター 他）

平成 30 年度ふじのくに NPO 活動センター活動報告書

- ⑦障害者アートを活用した障がい者サポートプログラム (cocore、東海大学海洋科学博物館、他)
- ⑧障害者とその家族も楽しめるシネコンでの映画上映会 (ミックスサンド、MOVIX 清水、静岡県映画興行協会)
- ⑨自販機で静岡県の地域課題解決! (ダイドードリンコ株式会社、公益財団法人ふじのくに未来財団、他)、
- ⑩出張美容サービス「春のおしゃれ体験イベント」(NPO 法人小山町福祉理美容協会、NPO 法人おでかけクラブ、小山町 NPO 支援室)

2 若者への協働・NPO活動の普及啓発

高校生ボランティア・社会貢献アワードの開催

- ・静岡県ハイスクールボランティアアワード
(※公益社団法人ふじのくに地域・大学コンソーシアムと共催)
- 11/1(木) アワード開催&エントリー募集 広報開始
- 11/1(木)~12/15(土)アワード応募受付 (応募 15 組)
- 1/10(木) アワード選考委員会 (プレゼン賞 6 組、ポスター賞 3 組を選定)
- 2/16(土) アワード活動発表&表彰式 (第 4 回ふじのくに・地域大学フォーラム内)
@常葉大学草薙キャンパス (来場者 428 名)

3 企業への協働・CSR活動の普及啓発

NPOと地域企業を考える

- ・CSR連続講座「CSRで経営力を強化する!」開催@焼津市総合福祉会館
- [第 1 回] 7/18(水) 講義
- [第 2 回] 7/31(火) ワークショップ
(講師 CSRコンサルティング事務所允治社 代表 泉貴嗣さん)
(参加 第 1 回 35 名、第 2 回 23 名 企業、NPO、中間支援、行政等)

企業からの相談・問合せ: 20 件

CSR・社会貢献活動について、NPO 法人設立に向けての相談など

4 市民への協働・NPO活動・社会貢献活動に関する普及啓発

NPO・社会貢献出前講座の開催

今年度、出前講座の依頼は 0 件であった。(問合せは 2 件あった)

- ・6/28(木)富士市民活動センターからの依頼で「国際交流ボランティア養成講座」に講

平成 30 年度ふじのくに NPO 活動センター活動報告書

師を派遣し、ボランティアや NPO について講義。

5 協働・NPO・社会貢献活動等に関する情報発信

NPO・社会貢献活動・協働に関する情報収集と発信

情報発信は県内 NPO と県民をターゲットに設定し、機動性と拡散性に利がある Twitter、Facebook といった SNS ツールを主に活用した。(発信件数：345 件)
助成金情報はアーカイブされるブログで発信し、利用者の利便性を高めた。

[Facebook のいいね数：701 (H.30.3 末) →712 (H.31.3 末)]

県内市町センター等で開催される NPO 向けの実務講座情報をふじのくに NPO の Web サイト上にて随時更新提供した。(年間 52 講座)

総括 (成果と課題)

NPO・協働事例調査では今年度から対象地域となった西部地域の団体についても取材や調査票更新のやりとりを通じて活動状況を把握するとともに関係構築ができた。また調査対象団体の選定にあたっては市町センターに地域課題に取り組む団体を推薦していただいたり、一緒にヒアリングするなど協働で進めることができた。

NPOと企業の協働を目的にしたCSR連続講座では、企業が考えるCSR活動の中でNPOとの連携した活動は優先順位が高くなく協働に至らないことを改めて認識させる結果となった。SDGs という共通言語ができ、社会課題解決に前向きな企業も出てきているので、今後NPOとの連携にも期待したい。

添付資料：

- ・ NPO 事例調査更新リスト
- ・ 協働事例調査報告書 (10 事例)
- ・ NPO100 ～地域課題に取り組む団体紹介 (新規追加ページ原稿)
- ・ 静岡県ハイスクールボランティアアワード実施報告書
- ・ CSR 連続講座実施報告書
- ・ CSR 連続講座実施半年後フォロー調査報告
- ・ 平成 30 年度月別情報発信実績集計表
- ・ 平成 30 年度県内開催 NPO 向け実務講座一覧

Ⅱ 中間支援人材の育成

1 中間支援業務従事者等を対象とした研修の実施

(1) 中間支援スタッフ集合研修

【テーマ①協働コーディネート】

- ・ 2/20(水) 「沖縄円卓会議から学ぶ協働コーディネート」

講師：公益財団法人みらいファンド沖縄 平良斗星副代表理事
： NPO 法人まちなか研究所わくわく 宮道喜一副代表理事

(参加 中間支援従事者 14 名 (内 FNC スタッフ 3 名)、行政 6 名、
NPO 4 名)

【テーマ②地域運営組織支援】

- ・ 9/18(火) 「地域組織への支援力向上」

講師：里山くらし LABO 池田水穂子氏、河村将雄氏

(参加 中間支援従事者 11 名、行政 14 名、NPO 4 名、大学生 1 名)

【テーマ③参加型評価】

- ・ 6/26(火) 「NPO 事業の評価とは？」

講師：公益財団法人トヨタ財団 加藤剛氏

(参加 中間支援従事者 25 名 (内 FNC スタッフ 7 名)、行政 7 名)

【テーマ④NPO 基盤整備】

「NPO の労務とは」

講師：加古朗社会保険労務士

- ・ 10/2(火) [東部会場]@ふじのくに東部 NPO 活動センター

- ・ 10/30(火) [西部会場]@浜松市市民協働センター

(参加 中間支援従事者 10 名、行政 6 名、NPO 16 名、その他 2 名)

【中間支援スタッフネットワーク交流会】

- ・ 5/23(水) 第 1 回ネットワーク交流会@掛川市まちづくり協働センター

(参加 12 名)

- ・ 6/26(火) 第 2 回ネットワーク交流会@ふじのくに NPO 活動センター

(参加 13 名)

- ・ 8/29(水) 第 3 回ネットワーク交流会@ふじのくに東部 NPO 活動センター

(参加 12 名)

(2) 市町センター OJT 型研修

- ・ 年度当初に市町を訪問し、担当課とセンター職員へのヒアリングにより、地域課題や支援ニーズを把握した上で OJT 計画を立て実施。

平成 30 年度ふじのくに NPO 活動センター活動報告書

※ 各市町の実施内容は「市町センター支援実施報告書」参照

- ・市町センター、行政担当課からの相談・問合せ：37 件
- ・県内中間支援従事者ネットワークのメーリングリストで情報共有
(メーリングリスト登録者：49 センター・団体・個人)

2 相談事例の集約及び相談事例集の作成

9月～10月 H.29年度のFNC3センター分の相談事例を集約し相談事例更新案を作成

※FNC 西部の相談記録は内容不明のため割愛

10/24(金)相談事例集の更新案を作成し県に提出（～2月 県による確認・修正）

2/26(金)FNC 相談事例集を市町の中間支援業務者に提供

総括（成果と課題）

中間支援スタッフ集合研修は、講義により参加者が知識を習得するとともに、ネットワーキングの場としても有効であった。また中間支援スタッフ交流会でもお互いのセンターの実施事例を共有することで各センターの業務改善につながられた。OJT型研修は明確な人材育成テーマを持たない市町センターが多いこともあり連携支援に留まることが多くなかった。参加型評価についても双方に理解が乏しく十分な成果をあげるには至らなかった。市町担当課と市町センターの間でも運営方法や人材育成について考え方に相違があり人材が流動化する現状においては、効果的なOJT実施は難しく改善が必要である。

添付資料：

- ・中間支援スタッフ集合研修実施報告書（4テーマ）
- ・中間支援スタッフネットワーク交流会報告書（3回）
- ・FNC 相談事例集
- ・市町センター支援実施報告書

Ⅲ 市町センター未設置地域等の NPO 活動の支援

1 相談業務

NPO 法人や任意団体からの相談・問合せは 348 件、法人設立については 52 件。
設立以外の相談では資金調達に関する相談が 1 番多く、事業報告書や役員変更など事務手続きに関する問合せも県から不備を指摘されることもあり多く寄せられた。

出張相談会

- ・ 10/3(水) 「NPO 何でも相談会」@牧之原市 (相談件数 1 件)
- ・ 10/16(火) 「NPO 何でも相談会」@川根本町 (相談件数 1 件)

2 NPO 向けセミナー等の開催

(※年度当初に NPO 活動支援ニーズを確認した結果、連携支援を希望したのは森町のみであった)

- ・ 11/28(水) 「まちづくり団体交流会」@森町
会場：森町町民生活センター
(参加 8 団体 14 名+地域おこし協力隊 3 名)

3 NPO 法人向け会計講座の開催

- ・ 8/1(水) 「NPO 会計相談会」@御前崎市
相談員：戸谷雄一公認会計士、他
(参加 3 団体 6 名)
- ・ 10/15(月) 「Excel で OK! NPO 会計講座」@島田市
講師：戸谷雄一公認会計士
(参加 7 団体 8 名)
- ・ 2/1(火) 「NPO 事務力アップ道場 会計実務編」@沼津市
講師：NPO 法人テダス 高橋博樹代表理事
(参加 14 団体 18 名)
- ・ 2/17(日) 「基礎から分かる！NPO 会計講座」@袋井市
講師：和歌山県 NPO サポートセンター 志場久起センター長
(参加 12 団体 24 名)

総括 (成果と課題)

相談業務については、静岡市・焼津市・藤枝市からの相談問合せが 42%を占め、今年度から対象地域となった西部地域からの相談は 20%弱と利用に偏りがある状況であった。センターの無い市町では担当課と連携して出張相談会を企画し、市の広報などで告知したが参加者は 1 名ずつであった。このような地域では日頃 NPO 同士が集まる場がなく課題

平成 30 年度ふじのくに NPO 活動センター活動報告書

が顕在化されないことも原因だと思われ、定期的に団体が集まる場の必要性を感じた。会計講座においては県外から講師を招くなどして、会計に不安を抱える団体に対して会計に親しみを持ちつつその必要性を理解していただくことができた。但し、団体ごとに事業内容や会計に対する理解度も異なるので、講座では基本の理解に留まり団体の状況に即した個別サポートまでは難しいのが現状であった。

添付資料：

- ・相談者属性別所在地内訳
- ・相談者属性別相談内容内訳
- ・曜日時間帯相談累計
- ・森町まちづくり団体交流会実施報告書
- ・会計講座・相談会報告書（4回）

IV 認定等取得の推進

- 1 認定等の取得を目指す法人の掘り起こし
- 2 認定等の取得を目指す法人に対するコンサルティング
(基準値 14 法人 1, 2 合わせて)

認定取得を目指す法人掘り起こし 2 法人 (西部 2 法人)

- ・ 5/23(水) 「認定 NPO 説明会」@掛川市役所
(参加 11 法人 19 名)

① NPO 法人時の寿の森クラブ (掛川市)

→ 事業報告書提出遅延のため、平成 31 年度、32 年度決算で認定申請予定。

② NPO 法人プライドサポートセンター (掛川市)

→ 平成 30 年度、31 年度決算で認定申請を検討し基盤整備中。

認定取得コンサルティング実施 12 法人 (西部 3 法人、中部 3 法人、東部 6 法人)

① NPO 法人富士山の森を守るホシガラスの会 (御殿場市)

→ 継続的に獲得できていた寄附見込がなくなり認定申請断念を決定(7 月)

② NPO 法人未来クリエート 21 (島田市)

→ 平成 29 年度、30 年度決算で認定申請予定。

③ NPO 法人アートコネクトしずおか (静岡市)

→ 平成 29 年度、30 年度決算で認定申請を検討したが、寄付獲得進まず申請未定。

④ NPO 法人捨て猫をなくす会 (富士市)

→ 平成 29 年度、30 年度決算で認定申請予定。

⑤ NPO 法人まち・人・くらし・しだはいワンニャンの会 (焼津市)

→ 平成 29 年度、30 年度決算で認定申請予定。

⑥ NPO 法人ふじのくに学校給食を考える会 (富士市)

→ 平成 29 年度、30 年度決算で認定申請予定。

⑦ NPO 法人里山会公文名ファイブ (裾野市)

→ 平成 29 年度、30 年度決算で認定申請を検討したが、基盤整備進まず申請未定。

⑧ NPO 法人 COMPAS (磐田市)

→ 平成 30 年度、平成 31 年度決算で認定申請予定。

⑨ NPO 法人人と動物のハッピーライフ (三島市)

→ 平成 28 年度、29 年度決算で認定申請を検討していたが、要件を満たしていない点があったため、改善した上で平成 29 年度、30 年度決算で申請予定。

⑩ NPO 法人 f.a.n 地域医療をはぐくむ会 (掛川市)

→ 平成 29 年度、30 年度決算で認定申請を検討したが、基盤整備進まず申請未定。

平成 30 年度ふじのくに NPO 活動センター活動報告書

⑪NPO 法人掛川市体育協会（掛川市）

→平成 29 年度、30 年度決算で認定申請を検討したが、途中で音信普通に。

⑫NPO 法人伊豆楽園プロジェクト（伊東市）

→平成 29 年度、30 年度決算で認定申請を検討したが、途中で音信普通に。

総括（成果と課題）

年度初めは 2 団体が認定申請を予定していたが、いずれも認定申請には至らなかった。このうち 1 団体は将来的な寄付集めについての懸念ゆえに、もう 1 団体は運営組織に関する基準が満たないために認定申請を断念した。認定取得後の寄付集めや事務作業についての不安は、取得後のコンサルティング支援で解消できると考えられる。現状では、認定申請個別コンサルティングという枠組み内で実施しているため、認定取得後の相談は一般の FNC 相談窓口で対応している。

30 年度コンサルティング対象団体のうち 6 団体は次年度に認定申請を予定している。個別コンサルティングの成果は単年度内では見出しにくく、継続的なコンサルティングが有効であると考えられる。将来的に認定申請を予定している団体には、NPO 法人設立時に認定に関する説明も行い、理解・準備をしてもらおうと認定申請へのハードルが低くなる。

添付資料：

- ・認定 NPO 法人説明会実施報告書
- ・認定掘り起し実施計画・報告書（2 団体）
- ・平成 30 年度個別コンサルティング管理表
- ・個別コンサル実施計画・報告書（14 団体）

平成 30 年度ふじのくに NPO 活動センター活動報告書

V その他の業務

1 連絡調整業務

- ・ 4/9(月) @ふじのくに NPO 活動センター /事業計画、報告様式の確認等
- ・ 5/16(水) @ふじのくに NPO 活動センター /市町支援計画案の確認等
- ・ 8/1(水) @ふじのくに NPO 活動センター/上半期の業務進捗確認等
- ・ 2/8(金) @ふじのくに NPO 活動センター/業務進捗確認等

※事業実施においてセンター間の連携が必要な際は電話やメールで随時打合せ実施。

2 その他、協働の推進、NPOの自立や拡大のために必要な業務

- ・ 4/19(木)韓国忠清南道より視察受入（経済通商室長等 4 名）
- ・ 6/25(月)第 1 回静岡県パートナーシップ委員会傍聴
- ・ 7/6(金)静岡県労働者福祉基金協会主催の市民活動センター会議に参加
- ・ 8/28(火)県庁インターン生受入（3 名）
- ・ 10/22(月)第 2 回静岡県パートナーシップ委員会傍聴
- ・ 1/28(月)第 3 回静岡県パートナーシップ委員会傍聴

3 施設管理業務

- (1) 受付案内、電話対応等
- (2) ふじのくにNPO活動センターの施設管理

総括（成果と課題）

今年度は開館時間などに変更もなく、会議スペースの利用者、相談によるセンター利用者ともに前年度と比較しほぼ横ばいであった。但し利用者の 93%は会議スペースの利用者であり、センターの主たる設置目的以外での利用が目立っている状況が続いている。

添付資料：

- ・ 月別来館者集計表

平成 30 年度
ふじのくに東部NPO活動センター
活動報告書

平成 31 年 4 月

公益財団法人 ふじのくに未来財団

《 目 次 》

1.	ふじのくに東部NPO活動センター運營業務実施の基本方針	1
2.	業務項目ごとの実施報告	
I	協働・NPOに関する情報の収集・発信、普及啓発	2
II	市町センター未設置地域等のNPO活動の支援	5
III	伊豆地域における中間支援のあり方の調査研究	11
IV	認定等取得の推進	13
V	その他業務	15
3.	付録	
3. 1	報告書	
I	協働・NPOに関する情報の収集・発信、普及啓発	
	添付 1 NPO事例調査票（5団体）	
	添付 2 協働事例調査報告書（5事例）	
	添付 3 月別情報発信実績集計表	
II	市町センター未設置地域等のNPO活動の支援	
	添付 4 事業報告書（NPO出張相談会）（3回）	
	添付 5 相談対応実績表	
	① 相談件数年間集計	
	② 相談者属性別所在地内訳	
	③ 相談者属性別相談内容内訳	
	④ 曜日時間帯相談累計	
	⑤ 月別来館者集計表	
	添付 6 事業報告書（NPOの組織基盤強化セミナー）（3回）	
	添付 7 事業報告書（NPO法人向け会計講座）（3回）	
III	伊豆地域における中間支援のあり方の調査研究	
	添付 8 事業報告書（伊豆地域の市民活動について考えるワークショップ）	
	添付 9 実施報告書（伊豆地域の市民活動について考えるワークショップ）	
IV	認定等取得の推進	
	添付 10 認定取得コンサルティング実績表	
	① 個別コンサルティング管理表	
	② 個別コンサル実施計画・報告書（5団体）	
3. 2	募集チラシ	
3. 3	掲載新聞記事	
4.	別添	
	業務完了報告書（平成 30 年度伊豆地域における中間支援機能のあり方の調査研究についてのワークショップ開催及び意見集約業務）	

1. ふじのくに東部NPO活動センター運營業務実施の基本方針

市町の市民活動センターの設置が進んでいない伊豆地域における市民活動支援

- ①『NPO活動支援に関する情報(講座・相談会開催、助成金等)のアウトリーチ』
ふじのくに東部活動センターから発信されるNPO等の活動情報について、一方的な発信に留まらず、双方向のコミュニケーションにつながるような支援を行う。
- ②『伊豆地域の活動団体のネットワークづくりの推進』
伊豆地域の鍵となる団体(NPOや一般社団法人等)と連携し、講座や出張相談会への集客促進を図る。
- ③『支援ニーズ・課題の共有』
活動現場において本当に必要な支援、課題を、ワークショップ、講座、相談会を通して集約・共有する。

ふじのくに東部NPO活動センターの各事業の実施にあたっては、管内市町担当課や外部機関、専門家に積極的に関わっていただき、事業実施効果の最大化に努める。

2. 業務項目ごとの実施報告

I 協働・NPOに関する情報の収集・発信、普及啓発

1) 協働・NPOに関する事例の調査

(1) 地域の課題に取り組むNPO事例調査

NPO事例調査

- ・ 目的： NPOの事例調査（情報更新 20 事例、新規 5 事例）と状況把握
- ・ 対象： 地域課題に取り組むNPO（伊豆地域）
- ・ 内容： 【更新】事業報告書等をもとに、収入額などの団体情報を更新する。
【新規】地域課題に取り組むNPOを発掘し現地訪問ヒヤリング等により調査し、事例集にまとめる。
- ・ 日程： 5月～3月
- ・ 成果目標： 更新：20 団体、新規：5 団体
- ・ 実績： 更新：20 団体、新規：5 団体（①～⑤）
 - ①富士山自然誌研究会（長泉町）
 - ②一般社団法人いちご（清水町）
 - ③NPO法人みなみのキッズ（南伊豆町）
 - ④一般社団法人 something one（函南町）
 - ⑤NPO法人HQ教育研究会（函南町）

(2) 協働先進事例の情報収集

協働事例調査

- ・ 目的： 協働による課題解決の推進のための事例収集・発信
- ・ 対象： 協働による先進的な課題解決をしている事例（伊豆地域）
- ・ 内容： 多様な主体による協働により課題解決をしている事例を調査し、その活動のポイントなどを整理し、共通様式にまとめる。
- ・ 日程： 4月～3月
- ・ 成果目標： 調査事例：5 事例
- ・ 実績： 調査事例：5 事例（①～⑤）
 - ①松崎町石部棚田におけるホテルの里の再生プロジェクト（松崎町）
 - ②「食」を通じて、都市部と伊豆をつなぐ「伊豆食べる通信」（伊豆市等）
 - ③伊豆八十八カ所霊場巡礼の復活（伊豆市等）
 - ④西伊豆の伝統食材「潮鯉」の復活（西伊豆町）
 - ⑤地域を理解するジオパークと学校連携の教育プログラム
（伊豆地域 7 市 8 町）

(3) 総括（成果と課題）

- ・ NPO事例調査、協働事例調査の調査先の選定では、活動分野のバランスに配慮した。両調査を通じて、伊豆の地域ごとに異なる課題があり、規模の大小関係なくそれぞれの手法で解決を進めている団体の状況を深く理解することができた。
- ・ 調査票の公表により、多様な主体による協働により地域課題を解決する手法を、県内外に広く示すことができた。今後は、東部FNCのNPO活動支援の方向性を検討する基礎資料としての活用も探していきたい。

【付録】

添付1 NPO事例調査票（5団体）

添付2 協働事例調査報告書（5事例）

2) 市民への協働・NPO活動・社会貢献活動に関する普及啓発

(1) NPO社会貢献出前講座

- ・ 目的： 県政出前講座の一環として、企業・学校・自治会等広く一般市民を対象に、協働・NPO活動・社会貢献活動（寄付・ボランティア活動等）に関する出前講座を実施する。
- ・ 対象： 企業、一般県民、中学生、高校生
- ・ 内容： 県政出前講座の一環として、NPOやボランティア、寄附等についての講座を実施する。
- ・ 日程： 申込ベース
- ・ 会場： 申込のあった企業・中学校、高校・自治会等
- ・ 成果目標： 講座参加者の満足度：80%
- ・ 実績： 0件。
出前講座のチラシ等を講座で配布等行い、講座の広報に積極的に取り組む

3) 情報集約・総合拠点への提供

本県の協働・NPOに関する情報発信の一元化を図るため、ふじのくにNPO活動センターに以下の情報提供を行う。

なお、実施にあたっては、その内容、提供時期等について、ふじのくにNPO活動センターと協議して行う。

(1) NPO事例調査結果、協働事例調査結果

- ・実績： NPO事例調査・協働事例調査の結果をふじのくにNPO活動センターに情報提供した。

(2) 相談業務に係る相談事例

- ・実績： 相談事例をふじのくにNPO活動センターに情報提供

(3) その他協働・NPO・社会貢献活動等に関する地域の情報

NPO・社会貢献・協働情報の収集と発信

- ・目的： NPO、社会貢献、協働に関する情報の県民周知
- ・対象： 県民、企業、NPO、行政、他
- ・内容： 県内外からの送付物やインターネット上から、NPO・社会貢献・協働に関する情報を収集し、県ホームページやSNSを活用して発信する。
- ・日程： 随時
- ・成果目標： 情報発信数：10回／月
- ・実績： 延べ262件（4月～3月）
 情報発信のターゲットを県内NPOと県民に設定し、機動性と拡散性に優れるSNSツール（Facebook）を主に活用し、FNC関連情報（当センター主催講座・セミナー・ワークショップ等）、助成金・補助金情報、団体紹介・イベント広報等を発信した。
 [Facebookのいいね数：363（H30.3末）→399（H31.3末）]

(4) 総括（成果と課題）

- ・ FNC関連情報、助成金・補助金情報、伊豆地域の団体紹介・イベント広報を中心に、SNSツール（Facebook）やメールリングリストで発信した。SNSには、東部FNC主催事業の参加者である市民活動関係者からアクセスいただくことができ、今後の伊豆地域の市民活動団体間の情報ネットワークの基盤ともなる。

【付録】

添付3 月別情報発信実績集計表

Ⅱ 市町センター未設置地域等のNPO活動の支援

1) 相談業務

ふじのくに東部NPO活動センターの窓口、電話、メール等によるほか、出張相談会の開催等によりNPO等の相談対応を行う。また、対応した相談事例については、相談事例集作成のため、ふじのくにNPO活動センターに情報提供する。

(1) NPO出張相談会 (3回)

- ・ 目的： 市民活動支援センターが未設置の市町のNPOの支援
- ・ 対象： 伊豆全域NPO等
- ・ 内容： 年度当初に各市町の開催要望をヒヤリングし、現地でNPO個別相談会を開催する。各市町担当課に会場確保、広報・集客、相談同席を担当いただく。
※事前予約制、30分×4団体(120分)
- ・ 日程・会場： 第1回 5月11日(金) 南伊豆郷土館
第2回 8月22日(水) 修善寺生きいきプラザ
第3回 2月14日(木) 下田市民文化会館
- ・ 成果目標： 相談会参加者の満足度：80%
- ・ 実績： 相談会参加者の満足度：3回とも80%以上
第1回 93.7% (5団体・5人)、第2回 100% (2団体・2人)、
第3回 100% (2団体・2人)

(2) NPO出張ミニ相談会 (9回)

- ・ 目的： 市民活動支援センターが未設置の市町のNPOの支援
- ・ 対象： 伊豆全域NPO等 (主対象：セミナー等の参加者)
- ・ 内容： NPOの組織基盤強化セミナーや会計講座の終了後、同会場にて、講座への追加質問やその他の相談を受けるNPO個別相談会を開催する。
※当日受付、各講座終了後60分程度
- ・ 日程・会場： ①6月28日(木) 函南町役場 ※NPO法人1年生講座
②7月11日(水) あやめ会館 ※伊豆ワークショップ①伊豆の国会場
③7月12日(木) 静岡県下田総合庁舎 ※伊豆ワークショップ①下田会場
④8月7日(火) あやめ会館 ※会計講座
⑤9月13日(木) ダイロクキッチン ※助成金活用講座
⑥11月8日(木) 静岡県下田総合庁舎 ※伊豆ワークショップ②下田会場
⑦11月9日(金) 伊豆の国市役所 ※伊豆ワークショップ②伊豆の国会場
⑧12月5日(水) 函南町役場 ※助成金活用講座
⑨1月25日(金) ダイロクキッチン ※プレスリリース基礎講座

(3) 相談対応

- ・ 目的： NPOの運営支援、企業等の協働参加促進等
- ・ 対象： NPO職員、県民、企業担当者、行政職員等
- ・ 内容： NPO法人事務、団体運営、協働、社会貢献に関する相談に原則予約制で対応する。必要に応じて専門家や他の支援機関につなげる。簡単な問合せ等は電話やメールでも対応する。
- ・ 日程： 随時
- ・ 会場： ふじのくに東部NPO活動センター
- ・ 実績： 478 件（出張相談会 26 件を含む）

(4) 総括（成果と課題）

- ・ 平成 30 年度の相談対応の分野では、認定・特例認定に次いで、平成 30 年 10 月 1 日から施行される改正NPO法に伴う貸借対照表の公告方法の変更についての定款変更、資金調達に関する相談が多数を占めた。特に定款変更では、貸借対照表の公告方法に加え、その他の条文も見直すことにより、組織運営について再確認する機会となった法人も多く見受けられた。
- ・ 出張相談会は、市町センター未設置地域等のNPO活動の支援の目的と、NPO団体のニーズとマッチしており、必要性は高いと考えられる。開催形式としては、単独開催よりも、東部FNC主催講座と相談会の2部構成の開催が有効であることが確かめられた。また、相談時間を各団体 30 分と設定した場合、相談内容によってはタイトであるため、質問事項は事前に聞き取って準備して相談に臨む必要がある。

【付録】

添付 4 事業報告書（NPO出張相談会）（3回）

添付 5 相談対応実績表

- ① 相談件数年間集計
- ② 相談者属性別所在地内訳
- ③ 相談者属性別相談内容内訳
- ④ 曜日時間帯相談累計
- ⑤ 月別来館者集計表

2) NPOの組織基盤強化セミナーの開催

NPOの組織運営基盤の強化を目的としたセミナー等を開催する。

(1) NPO法人1年生講座

- ・ 目的： 非営利法人で整えるべき労働環境、規約、契約等を学ぶ。
- ・ 対象： 伊豆全域NPO等
- ・ 内容： 法人事務の年間スケジュール、事業報告書の作成方法 など
- ・ 日程・会場： 6月28日(木) 函南町役場(函南町)
- ・ 成果目標： 講座参加者の満足度：80%
所轄庁への報告、関係組織への届出等の適切な処理
- ・ 実績： 参加者15人(14団体)
講座参加者の満足度：100%

(2) NPO・市民活動団体のための助成金活用講座(2回)

- ・ 目的： 非営利法人の財源確保に向けた様々な資金調達の事例や助成金申請の手法を学ぶ。
- ・ 対象： 伊豆地域・県東部の助成金申請に関心のある個人・NPO・団体等
- ・ 内容： 助成金申請のポイント、助成金以外の財源確保 ほか
- ・ 日程・会場： 第1回：9月13日(木) ダイロクキッチン(東伊豆町)
第2回：12月5日(水) 函南町役場(函南町)
- ・ 成果目標： 講座参加者の満足度：80%
規約、報告書等の整備、日本財団CANPAN情報公開サイトでの情報公開
- ・ 実績： ①参加者13人(団体12・個人1)、講座参加者の満足度：100%
②参加者18人(団体13、個人3、行政2)、講座参加者の満足度：88.9%

(3) NPO・市民活動団体のためのプレスリリース基礎講座

～現役記者に聞く 新聞に掲載してもらうためのヒント～

- ・ 目的： NPO・市民活動団体の組織運営基盤の強化を図るため、団体の目的(ミッション)を達成して活動を行っていくためのプレスリリースの手法を学ぶ。
- ・ 対象： 広報力・情報発信力を高めたいNPO・団体・個人など
- ・ 日程・会場： 1月25日(金) ダイロクキッチン(東伊豆町)
- ・ 内容： プレスリリースとは何か、新聞記者やデスクの視点を考える、目を引くプレスリリースの書き方、プレスリリース作成の実践 ほか
- ・ 成果目標： 講座参加者の満足度：80%
規約、報告書等の整備、日本財団CANPAN情報公開サイトでの情報公開
- ・ 実績： 参加者12人(団体10・個人2)
講座参加者の満足度：平均88.8%

(4) 総括（成果と課題）

- ・ 全4回開催し、参加者は延べ58人であった。所属は伊豆地域のNPO法人をはじめ、任意団体、一般社団法人、中間支援組織、市町のNPO行政担当課など多岐にわたった。このうち、一般社団法人（非営利型）は、事業内容はNPO法人に近似して自由度が高い反面、所轄庁がなく、法人運営の手法がわからずに参加したとのことであった。今後、同様のケースの増加も考えられることから、一般社団法人（非営利型）への支援体制も整備する必要がある。
- ・ テーマの選定では、伊豆地域のNPOの組織基盤強化として、NPOの年間事務スケジュール、資金調達、プレスリリースをテーマとした講座を開催した。開催時期は所轄庁への事業報告書等の提出期限や助成金の公募時期などを踏まえるとともに、会場もテーマに沿って選定した。助成金活用講座では、NPO法人にクラウドファンディング活用の経験談を发表してもらおうようにも工夫することで、参加者の講座満足度も高かった。
- ・ 講座の冒頭では、参加者から各自の活動概要や課題などを一人ずつ話してもらうことで、その後の質疑応答やミニ相談会で活発な議論が交わされるようになり、所属や活動分野を超えた情報交換の場ともなった。
- ・ 開催場所については、当センター初の函南町役場で開催し、担当課にも同席いただくことで、市民活動の現状や課題などを理解いただくことができた。
- ・ 平成31年4月施行の労働基準法改正により、労務関係の講座も今後ニーズが高くなると予想される。

【付録】

添付6 事業報告書等（NPOの組織基盤強化セミナー）（3回）

3) NPO法人向け会計講座の開催

(1) NPO法人向け会計講座 (3回)

- ・ 目的： 市民活動支援センターのない市町にあるNPOの会計基礎力の強化
- ・ 事業名： 第1回 NPO会計講座
第2回 NPO・市民活動団体のための逆引き会計講座
第3回 NPO会計相談会
- ・ 対象： 伊豆地域のNPO等
- ・ 内容： 第1回 会計事務の要点チェック、エクセル会計を使ってみよう
講師：戸谷 雄一 公認会計士
第2回 会計とは、計算書類、勘定科目と仕訳、日々の処理ほか
講師：伊豆便利堂 都甲 豊子 氏
第3回 会計に係る個別相談
講師：戸谷 雄一 公認会計士
- ・ 日程・会場： 第1回 8月7日(火) あやめ会館(長岡中央公民館)(伊豆の国市)
第2回 2月14日(木) 下田市民文化会館(下田市)
第3回 2月18日(月) 伊豆の国市役所(伊豆の国市)
- ・ 成果目標： 講座参加者の満足度：80%
- ・ 実績： 第1回 参加者6団体・7人、講座参加者の満足度：95.2%
第2回 参加者6団体・7人、講座参加者の満足度：80%
第3回 参加者3団体・3人、講座参加者の満足度：100%

(2) 総括(成果と課題)

- ・ 全3回開催し、参加者は延べ17人であった。所属は、伊豆地域のNPO法人をはじめ、任意団体(助成金採択団体、NPO法人認証申請準備中団体)、一般社団法人など多岐にわたった。
- ・ 講座の冒頭では、参加者の自己紹介の時間を設け、各団体の活動内容や会計での困りごとなど話していただいた。これにより、講座は和やかな雰囲気で行われ、参加者同士の会計の困りごとの共有と各団体の会計事務の改善点の深い理解につながり、参加者の満足度も高かった。
- ・ 会計相談会は、これまで30分枠では足りない例が多かったことから60分枠としたが、今回も、状況をじっくり聞くことで、相談者が意識していない真の問題が表出してきたため、包括的にアドバイスした。NPO法人の会計改善には、こうした個別相談が最も効果的と思われる。
- ・ 参加者からは、会計講座の継続開催や、基礎編・応用編の開催等の要望を多く受けており、センター未設置地域のNPO活動支援として、会計講座の開催は非常に有効と思われる。また近年、NPO法人の税務に関する相談が増えているため、税理士による定期

的な税務相談会の開催も検討すべきである。

【付録】

添付 7 事業報告書（NPO法人向け会計講座）（3回）

Ⅲ 伊豆地域における中間支援のあり方の調査研究

(1) 伊豆地域の市民活動について考えるワークショップ（2回）

- ・ 目的： 伊豆地域の社会的・地理的特性を踏まえた上での市民活動や、必要な支援等
についてのワークショップを開催し、現場の課題やニーズを把握する。
- ・ 対象： 伊豆地域で市民活動を行っているNPO法人
一般社団法人、自治会などの団体や個人
市民活動を支援している社会福祉協議会や行政機関
CSRやソーシャルビジネスに関心のある企業 など
- ・ 日程・会場： 下田会場・伊豆の国会場の2会場で各2回開催

第1回	下田会場	平成30年7月12日（木）13:30～15:30 静岡県下田総合庁舎
	伊豆の国会場	平成30年7月11日（水）13:30～15:30 長岡中央公民館（あやめ会館）（伊豆の国市）
第2回	下田会場	平成30年11月8日（木）13:30～15:30 静岡県下田総合庁舎
	伊豆の国会場	平成30年11月9日（金）13:30～15:30 伊豆の国市役所本庁舎
- ・ 内容： 第1回 現在抱えている団体や活動の課題
課題に対してどんな支援が必要か
第2回 伊豆地域の市民活動の活性化に向けた今後の取組
※ファシリテーター：NPO法人NPOサプライズ
- ・ 成果目標： 伊豆における中間支援のあり方の集約
- ・ 実績： 詳細は添付実施報告書を参照

参加者人数・属性	
第1回	下田会場 21名（NPO法人6、株式会社1、合同会社1、 任意団体2、個人6、行政5）
	伊豆の国会場 26名（NPO法人6、一般社団法人4、株式会 社1、任意団体9、個人2、行政4）
第2回	下田会場 21名（NPO法人7、株式会社2、合同会社2、 任意団体2、個人4、行政4）
	伊豆の国会場 17名（NPO法人4、一般社団法人3、株式会 社2、任意団体1、個人1、行政4、その他2）

(2) 総括（成果と課題）

添付9 実施報告書を参照

【付録】

添付 8 事業報告書（伊豆地域の市民活動について考えるワークショップ）

添付 9 実施報告書（伊豆地域の市民活動について考えるワークショップ）

【別添】

別添 1 平成 30 年度伊豆地域における中間支援機能のあり方の調査研究についての
ワークショップ開催及び意見集約業務 業務完了報告書
（特定非営利活動法人NPOサプライズ）

IV 認定等取得の推進

1) 認定等の取得を目指す法人の掘り起こし

認定・特例認定制度の普及啓発等を実施することにより、認定等の取得を目指す法人の掘り起こしを行い、取得に向けた計画の策定を支援する。

2) 認定等の取得を目指す法人に対するコンサルティング

2020年（平成32年）までに認定・特例認定の取得を目指す法人に対し、認定等の要件達成に向けた具体的な課題の解決や申請書類の作成等の支援を行う。

(1) 認定NPO取得候補団体発掘

- ・ 目的： 認定NPO等取得のためのコンサルティング対象団体の発掘
- ・ 対象： 認定NPO等取得を目指す団体
- ・ 内容： NPO調査等を参考に、認定NPO取得を目指す新規のコンサルティング対象団体を発掘する。
- ・ 日程： 4月～5月
- ・ 成果目標： コンサルティング対象団体発掘：1団体
- ・ 実績： コンサルティング対象団体発掘：1団体
NPO法人富士トレイルランナーズ倶楽部（伊豆市）

(2) 認定NPO取得支援コンサルティング

- ・ 目的： NPO法人の認定取得促進
- ・ 対象： 認定等の取得を目指す団体：4団体（継続3団体、新規1団体）
- ・ 内容： 各対象団体と、認定の取得に向けた支援計画を策定する。
支援計画に基づき、目標達成に向けたコンサルティングと進捗確認を実施する。
- ・ 日程： 月1回程度（面談・メール・電話等）
- ・ 会場： ふじのくに東部NPO活動センター、対象団体事務所等
- ・ 成果目標： 支援計画の達成度：80%
- ・ 実績： 支援対象：4団体（継続3団体、新規1団体）
NPO法人REALE WORLD（伊東市）…認定取得（平成31年3月）
特例認定NPO法人南伊豆湯の花（南伊豆町）…認定取得断念
NPO法人伊豆水上バイク安全協会（下田市）…認定取得断念
NPO法人こるり（函南町）…今年度中の認定取得断念（継続支援希望）

(3) 総括（成果と課題）

4団体が認定申請を予定していたが、結果的に認定取得は1団体、継続支援希望は1団体、

断念は2団体であった。NPO法人南伊豆湯の花は、特例認定から認定申請に関して団体内での合意形成ができなかったため移行を断念した。NPO法人伊豆水上バイク安全協会は認定NPO法人としてのメリットが見いだせない、事務作業に不安があるという理由で認定申請を取りやめた。また、認定取得後の継続的な寄付集めも懸念事項になっている。認定申請後の支援（資金調達や基盤整備）が担保されれば、そういった不安も払拭され認定申請希望団体が増加するとも考えられる。

【付録】

添付 10 認定取得コンサルティング実績表

- ① 個別コンサルティング管理表
- ② 個別コンサル実施計画・報告書（5団体）

V その他業務

1) 連絡調整業務

2) その他、協働の推進、NPOの自立や活動の拡大のために必要な業務

(1) ふじのくにNPO活動センターとの連携会議

- ・ 2センター会議（4回）…①4月9日（月）、②8月1日（水）、③10月25日（木）、
④2月8日（金）

※事業実施においてセンター間の連携が必要な際は電話やメールで随時打合せを実施

(2) その他、協働の推進、NPOの自立や活動の拡大のために必要な業務

- ① 5月23日（水）NPO法人認定講座、中間支援スタッフ交流会参加（掛川市）
- ② 8月29日（水）中間支援スタッフ研修参加（東部FNC）
- ③ 9月18日（火）中間支援スタッフ研修会参加（FNC）
- ④ 10月2日（火）中間支援スタッフ研修会参加（東部FNC）
- ⑤ 2月1日（金）NPO事務道場会計実務編 in 沼津参加（東部FNC）

(3) 施設管理業務

- ア) 受付、電話対応等
- イ) ふじのくに東部NPO活動センター内の施設管理